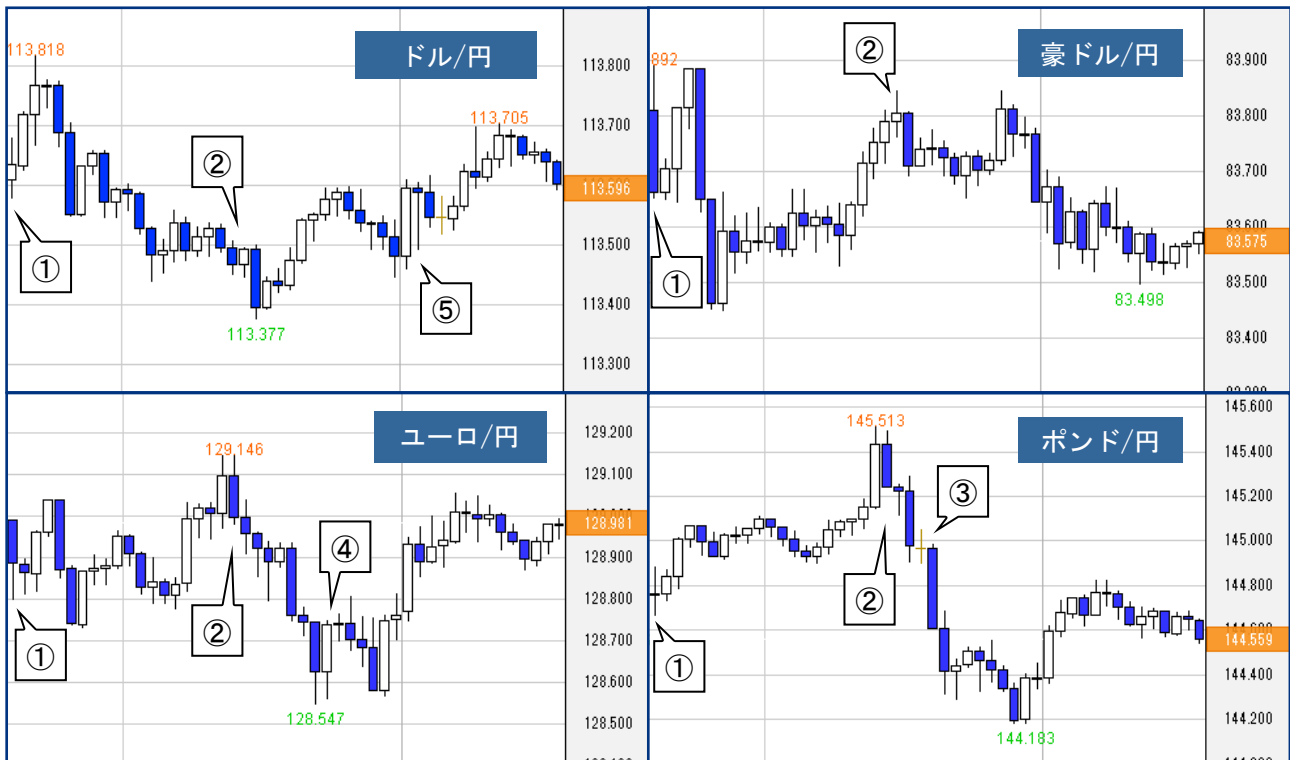


12月4日(火曜日)  
ドル/円・豪ドル/円  
ユーロ/円・ポンド/円

## ドルと円に強弱関係見えず

### 3日(月)の為替相場



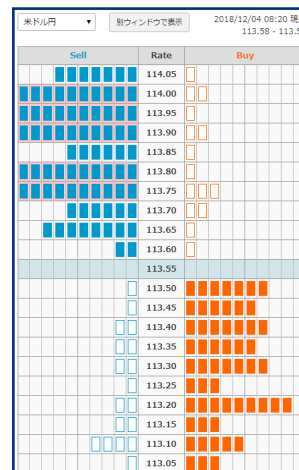
期間:3日(月)午前7時00分~4日(火)午前6時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所:外為どっとコム

- ① 前週末1日に行われた米中首脳会談で貿易戦争の「一時停戦」が決まった事を受けて円売り優位で取引が始まった。特に豪ドル/円は、前週末終値から80銭近く上昇して取引がスタートした。なお、米中首脳会談は、米国が2019年1月1日に発動予定だった2000億ドル相当の対中輸入への関税引き上げ(10%から25%へ)を90日間猶予し、知的財産権の侵害問題などの協議を開始する事で合意した。
- ② 米中合意を受けて中国人民元高・ドル安が進行する中、他の通貨に対してもドル安の影響が波及。ドル/円が113.30円台へ弱含んだ一方、ユーロ/円、豪ドル/円、ポンド/円などのクロス円は、ストレートドル(ユーロ/ドルなど)の上昇につれて強含んだ。
- ③ 英11月製造業PMIは53.1と予想(51.7)を上回った。しかし、翌日から英議会で始まる欧州連合(EU)離脱協定案の審議を前に、ポンドは軟調に推移。なお、メイ英政権はEU離脱協定案の採決を予定通り11日に行うと発表した。
- ④ 「コンテ伊首相は、両副首相に対して財政赤字目標を国内総生産(GDP)の1.9-2.0%に引き下げよう説得しつつある」と一部イタリア紙が報じた事などから、イタリア国債利回りが低下したが、ユーロの反応は限られた。
- ⑤ 米11月ISM製造業景況指数は59.3と予想(57.5)に反して前回(57.7)から上昇。構成指数のうち新規受注が62.1に改善(前回57.4)した他、雇用も58.4と前回(56.8)から上昇した。

3日(月)の株・債券・商品市場

| 日経平均                | 豪ASX                 | 上海総合                | 英FT               | 独DAX                |
|---------------------|----------------------|---------------------|-------------------|---------------------|
| 22574.76<br>△223.70 | 5771.162<br>△104.005 | 2654.798<br>△66.610 | 7062.41<br>△82.17 | 11465.46<br>△208.22 |
| NYダウ                | 日10年債                | 豪10年債               | 英10年債             | 独10年債               |
| 25826.43<br>△287.97 | 0.0860%<br>▼0.0060   | 2.615%<br>△0.023    | 1.313%<br>▼0.051  | 0.306%<br>▼0.007    |
| 米2年債                | 米10年債                | NY原油                | NY金               |                     |
| 2.8211%<br>△0.0346  | 2.9697%<br>▼0.0182   | 52.95<br>△2.02      | 1239.60<br>△13.60 |                     |

外為注文情報(ドル/円)



本日の見通し

| 予想レンジ | ドル/円            | ユーロ/円           | 豪ドル/円         | ポンド/円           |
|-------|-----------------|-----------------|---------------|-----------------|
|       | 113.100-114.100 | 128.500-129.500 | 83.000-84.000 | 144.000-145.200 |

【ドル/円】

昨日のドル/円はほぼ横ばいで取引を終えた。米中貿易戦争の「一時停戦」を受けて113.80円台へ上昇したが、資源国通貨や新興国通貨に対してドルが売られた影響で113.30円台へと軟化。ただ、米11月ISM製造業景況指数の好結果もあって113.70円台に持ち直すなど、世界的株高のリスク選好地合いの中では下落も続かなかった。

米中首脳会談の消化は一巡したと見られるが、ドルと円の間で強弱関係がはっきりしにくい地合いは本日も続きそうだ。ただ、原油高にもかかわらず、米10年債利回りが再び3%を割り込んで低下したのはやや気になるところだろう。米連邦公開市場委員会(FOMC)が2週間後に利上げに動く事が濃厚とあって、長期金利が一段と低下するとは考えにくい。日米金利差縮小はドル安・円高要因になり得るだけに、本日の動きを注目しておきたい。

執筆者: 神田

本日および明朝の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

| 日付      | 時間    | 注目度 | 経済指標、イベント等           | 前回発表  | 市場予想  |
|---------|-------|-----|----------------------|-------|-------|
| 12/4(火) | 12:30 | ◎   | (豪)RBA政策金利発表         | 1.50% | 1.50% |
|         | 18:15 | ○   | (英)カーニーBOE総裁、講演      | —     | —     |
|         | 18:30 |     | (英)11月建設業PMI         | 53.2  | 52.5  |
|         | 19:00 |     | (ユーロ圏)10月卸売物価指数(前年比) | +4.5% | +4.5% |
|         | 24:00 | ○   | (米)ウィリアムズNY連銀総裁、講演   | —     | —     |
|         | 27:00 |     | (英)プリハMPC委員、講演       | —     | —     |
|         | 未定    | ○   | EU財務相理事会             | —     | —     |
| 12/5(水) | 09:30 | ◎   | (豪)7-9月期GDP(前年比)     | +3.4% | +3.3% |

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。